

qPCR 法の新たな技術がここに誕生！

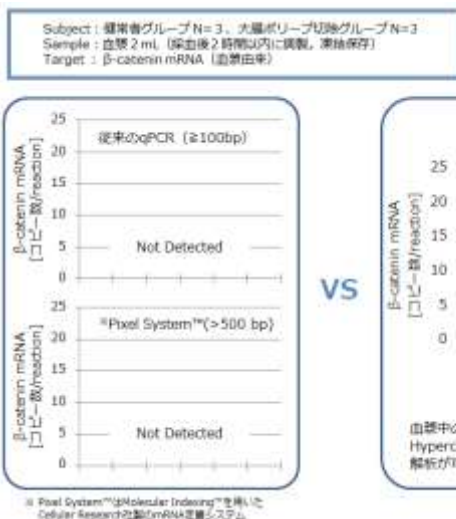
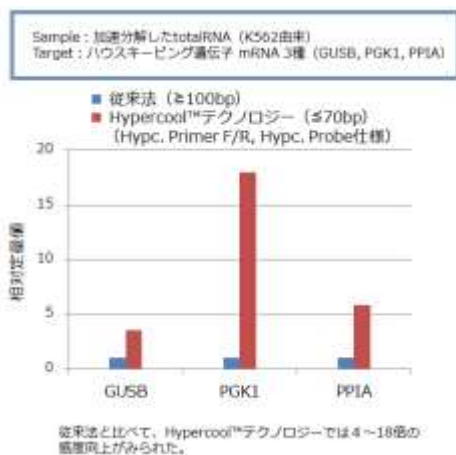
## 「Hypercool™テクノロジー」

先にご紹介したノロウイルス GII.P17-GII.17 型のように、相同性配列や Exon 境界の位置・二次構造形成の影響などから、従来のアンプリコンサイズのデザインが困難なケースがあります。また、FFPE 病理組織、血漿・血清中、尿中の核酸は、分解が進んでいるものが多く、100nt 以下まで分解しているものも少なくありません。

このような場合に、プライマーやプローブの Tm 値上昇させ、短いアンプリコンサイズにおける短いプライマー・プローブのデザインを可能とした技術が、Hypercool™テクノロジーです。

多数導入、連続投入の実現 ⇒ Tm 値上昇ヌクレオチドの導入合成法を確立  
 複雑で困難な配列の Tm 値算出が実現 ⇒ Tm 値算出法を確立

### Hypercool™テクノロジーと従来法との PCR 定量値の比較



日本遺伝子研究所は、感度および信頼性を向上させる Hypercool™テクノロジーによって、皆さまの研究をサポートいたします。

▶Primer & Probe カスタム合成

⇒詳細は[こちら](#)

▶製品

検量線スタンダード付プライマー・プローブセット(House Keeping Gene 10 種)

⇒詳細は[こちら](#)

お問い合わせ

株式会社日本遺伝子研究所 合成事業部

oligo@ngri.co.jp

TEL : 022-388-9748 (直通) FAX : 022-388-9740 まで

▶受託サービス

Hypercool™Primer&Probe デザインサービス

Cell-free mRNA Hypercool™RT-qPCR サービス

FFPE Hypercool™RT-qPCR サービス

⇒詳細は[こちら](#)

お問い合わせ

application@ngri.co.jp

株式会社日本遺伝子研究所 検査事業部 アプリグループ

TEL : 022-388-9746 (アプリグループ直通) FAX : 022-388-9740 まで